日刊 一夕

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷人 福島縣石城郡平町[illegible]町十四
印刷所 [illegible]活版所
發行所 福島縣石城郡平町[illegible]町十五 磐城時報社
一部金弍錢 一ヶ月金參拾錢
廣告料一行(十四字詰)金五十錢
▲日刊(日曜、祭日)休刊

合併方針を捨て 單獨整理を計劃
磐城銀行の更生策 更に三週間の休業か

休業整理中なる平町磐城銀行その後の經過については東京某一流銀行との合併によるか磐銀單獨整理によるか二途いづれか更生の道を講ずべく奔走されてゐたが、最近同行重役の意向は單獨整理による更生策が漸次有力となり、かつて東京中澤銀行整理に當つた平澤計理士に磐銀整理を一方主務省に對しては單獨整理による復活策を上申した模樣だが、その內容としてはある程度における各重役の私財提供及び減資による整理復活を期すべく同行整理案はこの方面に向つて方向轉換を行つた模樣である、しかしこの單獨整理案としても整理事務の進行並びに減資に關聯する對內外的の交渉など相當時日の經過は免れぬものゝ如く從つて休銀期間滿了開店豫定の八月七日から更に三週間の休業繼續を聲明するものと見られてゐる。

東京電話
床次氏 民政黨脫黨

床次民政黨顧問は對支問題について濱口總裁と意見合はず一日朝民政黨を脫黨した。

平競馬場は 設置絶望

會津地方競馬場の設置行惱みの矢先石城郡平町馬目雄次郎氏外十二名から去月七日出願れた同町鎌田町地內への公認競馬場設置請願は會津方部の關係者を極度に狼狽せしめたが、縣は右申請を過般來調査中のところ、地方競馬規則中優勝馬投票により景品券を發行に非ざる競馬の施行目的とせるものと認められるが規則第四條所定の添付書類不備のみならず、縣は現在產馬畜產組合以外の團体に許可しない方針なので三十一日右書類を平町長經由返戾したが今後例ひ石城產馬畜產組合から新に書類を整へて出願するも滾通りには既に相馬、双葉兩組合の主催たる原町地方競馬の開催を許可してゐる以上絶對に石城方部には許可しない旨附加注意したと言はれてゐる。

增水の浸水家屋 平地方は少ない

石城地方に於ける數日來の降雨は暴風と化し四倉、江名、小名濱共漁船の入港その他で被害を蒙つた事屢報の如くであるが、今回の降雨は俄か雨でないため河川の增水は割合に少なく夏井川は八尺二寸、新川は五尺七寸、その他の河川の增水は大体五尺內外に過ぎないため平町地方の浸水家屋は皆無で內郷村大字綴、同町の內方面に於て曲山久平外七名が床下浸水を見たに過ぎなかつた。

夏秋蠶 催青期

石城地方に於ける夏蠶は數日前から催青期に入り八月四五日頃までの間が最盛であると。

▲簡閱點呼日割 植田警察署管內に於ける陸軍簡閱点呼日割及執行場所は左の通りである。
八月二日植田小學校、三日勿來小學校、四日田人小學校、五日上遠野小學校

▲窪田檢事出發 平區裁判所から若松區裁判所檢事に榮轉した窪田檢事は五日午前九時廿五分平驛發赴任の筈である

磐城銀行で 支店廢合

休業中の平町磐城銀行では三十一日付をもつて双葉郡長岡出張所主任國井民藏、茨城縣大津町支店長樫村義衛氏外廿二名の行員を解職したが更に支店及び出張所の廢合を行ひ双葉郡浪江、長岡の出張所を富岡支店に、石城郡豐間出張所を江名支店に、茨城縣磯原、平潟出張所を大津支店にそれ〲合併し今一日から執務する事になつた。

豪雨を冒して 中堅農民の現地講習
昨日、磐崎、玉川、小名濱で擧行 一同ヅブ濡れの熱心さ

石城郡農會の中堅農民現地講習會は昨三十一日午前九時から郡農會鈴木技手等引卒、會員四十五名が先づ折柄の豪雨を突いて磐崎村大字下船尾農事實行組合に至り技術者から組合組織其他について詳細な說明をうけ次いで玉川村大字島農事實行組合で同樣現地講習を受けた後小名濱町測候所に至り小磯主任より農業と氣象に關する講演並に現在の天候觀測其他についての講話あり午後四時同町伊佐奈肥料會社主任より鯨肉粉の製作に關する講習をうけて解散したが、會員一同はヅブ濡れの有樣でその熱心さに何れも驚いてゐた。

▲渡部巡査赴任 平警察署高等係から縣警察部特別高等課に榮轉した渡部公巡査は二日午前九時二十五分平驛發列車で赴任する。

暗闇に婦人を待ちうけ 强奪した上暴行
植田署で非常召集

石城郡湯本町字八仙雜貨商鈴木仁左衛門妻いと(三四假名)が去る二十九日午後九時ころ實家なる同郡白水村大字下川に行く途中同村八幡神社の暗がりにさしかゝつた際突然同神社境內から一見勞働者風の怪漢が現れ、いとの所持してゐた現金卅圓を强奪した上同人を組伏せあはや暴行に及ばんとしたので大聲を出し極力抵抗したので目的を遂げず逃走した、訴へにより所轄植田署では直に管內巡查の非常召集を行ひ犯人嚴探中であるが未だ就縛に至らない。

平の高齡者 五名死亡

今秋行はせらるゝ御大典に際して養老杯を下賜される平町の高齡者は五十六名であつたが去る二十九日までに死亡者五名を出したので現在五十一名となつたが死亡者氏名左の如し。
▲平町搔揚小路三三鈴木マタ(八二)▲平町新川町八二杉崎タカ(八二)▲同搔揚小路四大河內友藏(八二)▲同三丁目塩崎タイ(八三)▲同八幡小路坪野サイ(八五)

▲聯合謠曲會 石城郡泉村松韻會主催の郡南聯合謠曲素謠會は八月五日午前九時から泉驛前藤野屋旅館に開かれるが各會の決定した曲目は左の通り。
▲植田(鞍馬天狗、烏帽子折、紅葉狩)▲藤原(大佛供養、羅生門、土蜘蛛)▲泉(海女、小袖曾我)▲勿來(松風、熊野)

石城販賣利用 役員增員

石城販賣利用組合では左の如く總代を增員した。
▲上小川村草野定藏▲下小川村白石長平

酒の肴に 兎を盜む

平町久保町荒川梅治方雇人山形縣生れ長谷川美代市(十九)は大正十五年竊盜罪により起訴猶豫中の者であるが七月二十九日夜平町字大舘石井龜吉方から兎五羽代五圓を竊取した外數ヶ所から兎を盜み酒の肴にして食つてしまつた事平署に發覺し三十一日捕はれた。

村を追はる
（その七）
外山生

血氣の若者等は愚民を惑す不屆坊子と憤慨した、やがて坊子追出の件が謀議された、坊子は遂々追出された、間もなく、怨みを含むで行つた、日蓮坊子の崇りなくては濟むまいと言ふ話がどこからともなく傳つて來た。

歲末匆忙、身を切る北風に粉な雪さい交つて物寂しい或る晩の丑の刻、火の見の高櫻に早鐘が鳴つた。一ッ、二ッ、やがてジャン〲〲ひきも切らず鳴り渡つた、村人の平和な夢は破られた……つひに村人懸念の、消防の甲斐もなく、〇〇家は灰燼に歸した。

×　×　×

數日の後、あれは坊子の崇りだ、怖しいことだと話しするのを聽いた、やがて若者は父老より、お先者、不屆者と罵しられた。

そして、おつねさんは……村人は勿論、わが子供等からも、不貞の女よ、愚な母よ、と罵られながら、年老いて嬰兒を抱いて肩狹く暮してゐる坊子は今どこを漂浪してゐることであらう。

要するに、村人の宗敎觀念は前述の程度を出ない、況んや農人としての人生觀などをや

村には、中學校やその上の學校を濟まして來た人は澤山あつたが、申合せたように皆村に居止まらなかつた、たまさか鄕里である村に歸ることがないではないが、其の時は決つて、村の人とは、かけ放れた容子をして奇麗な美しい婦人を伴つて來た。そして幾日かを村に過して村の存在と異つた生活樣式を村人に見せた月給を取る人の幸福?は老も若いも、等しく賞讃羨望の的であつた。

村にたつた一人農業の敎育を享けて來た靑年があつた、彼は農人として敎育された宿命と村の存在を、いくらか知つてゐた。

新妻辯護士 業務開始

辯護士從五位新妻誠一氏は久しく休業中の處今回平町搔搥小路一番地（電話百六十一番）に法律事務所を設け辯護士の事務に從事する事になつた。

身元不明の 縊死体

內鄉村大字宮字町田地內元製材工場跡に女の縊死体あるを三十日午前七時頃通りかゝつた小野房吉が發見届出でたので平署七海巡査部長檢死したが住所氏名年齡不詳で死体は村役場に引渡した。

印刷物は　加納活版所

▲鈴木組頭披露式

草野村消防組頭大平源八氏退職し後任として鈴木喜三郎氏就任し七月二十九日新舞子で披露會を催ほした。

▲未知の君の幼を追ふて

平山冷涙愁投

唇よ―汝に告げん
あの、余りにも惱しい
此の思ひを愛する幼の君に
お傳へしておくれ
× × ×
瞳よ―汝に告げん
あの、美しい方を垣間見て
我心の異樣に戰くを如何しやう
唯、何故とは知らず
× × ×
涙よ―汝に告げん
あの、エスの御許を去らうとする私を叱つておくれ
そして淸い涙よ、凡てを拭つておくれ
あまりにも淡い曉の夢を
早く喔ましておくれ。

第拾七期 營業報告

（昭和三年上半期）

貸借對照表

資產之部

未拂込株金	一二、五〇〇・〇〇〇
貸付金	二七、一七二・七九〇
假拂金	二、〇〇三・一三〇
什器	八六九・三〇〇
共同購入品	一八、一七八・七〇〇
預金	一、八七五・〇四〇
振替口座	一二・一六〇
製造	二〇八・八四〇
現金	一九七・八四〇
建物	二六六・〇〇〇
合計	一六三、二八三・七〇〇

負債之部

資本金	一五〇、〇〇〇・〇〇〇
假受金	三八八・四八〇
借入金	六、五九七・五三〇
未拂配當金	二六六・八〇〇
別途積立金	一、八〇〇・〇〇〇
法定積立金	二、八〇〇・〇〇〇
前期繰越金	二八〇・〇一〇
當期利益金	一、一五〇・八八〇
合計	一六三、二八三・七〇〇

利益金處分案

一金五千貳百八拾圓五拾六錢　當期利益金
一金四千壹百貳拾九圓六拾八錢　當期欠損金
差引金壹千壹百五拾圓八拾八錢　純利益金
一金貳百八拾圓〇壹錢　前期繰越金
合計金壹千四百參拾圓八拾九錢之ヲ處分スルコト左ノ如シ
金壹百五拾圓　法定積立金
金壹百五拾圓　別途積立金
金九百參拾七圓五拾錢（年五分）株主配當金
金壹百九拾參圓參拾九錢　後期繰越金

右之通相違無之候也

昭和參年六月卅日

小名濱水產株式會社

專務取締役　水野政次郎
常務取締役　佐藤作平
取締役　薗田嘉藏
取締役　水野德次郎
支配人　平野直康
監査役　中野鐵之助
監査役　高木保

謹告

小生永々休業罷在候處今般左記ニ事務所ヲ設ケ從前通リ辯護士ノ業務ニ從事致候

辯護士 從五位 **新妻誠一**

事務所　石城郡平町搔搥小路（田町通り一番地）　電話一六一番

うなぎについて

―御客樣へ謹告

弊店で鰻料理に使用する鰻は本場燒津產以外は絕對に用ひてゐませんが近頃同業者の某氏は、弊店の鰻は平地方產のものゝ如く宣傳してゐる由でありますがそれは惡宣傳に過ぎず弊店の鰻は正眞正銘燒津產の優良なるものに相違ありませんから御客樣各位は之等惡宣傳に迷はされず相變らず御贔負御引立の程懇願致します

平町南町平舘隣（電話四二四番）

燒津鰻御料理　**魚榮**

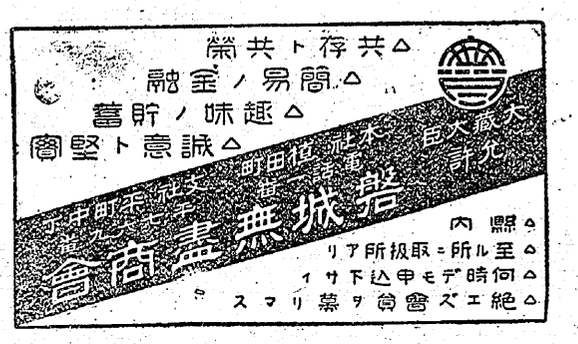
◎良品廉賣に勝る商略なし!!!

和洋銅鐵金物問屋　**久釜屋商店**　磐城セメント會社特約店

磐城平　電話一九番　一三九番

◎確實敏捷は久の生命なり!!!

大和田醫院 耳鼻咽喉科　平町南町　電話一七〇番



△共存ト共榮
△簡易ノ金融
△趣味ノ貯蓄
△誠意ト堅固

大藏大臣允許　本社　植田町　電話一番　支社　平町中町　電話一六九番

磐城無盡商會

△縣內
△至ル所ニ取扱所アリ
△何時デモ申込下サイ
△絕エズ會員ヲ募リマス

胃腸　內科　專門　十二指腸虫病

梅毒　淋病　婦人病　專門　皮膚病

松村病院　平南町　電話一七〇

高久病院　內科・外科・耳鼻咽喉科・花柳病科　院長　高久忠　平町　電話一三五

◆巨匠伊藤大輔◆大河內傳次郎（二人役）◆第二篇◆

大岡政談

例年の通舊盆迄で　**謝恩興行**（第二週目）

◆伏見直江・賀川淸・梅村蓉子・高木永二・伊藤みはる・卯島五郎・實川延一郎◆
常に時代劇に新生面を開拓しつゝある我大日活の映畫第二編に於て燦然たり

◆監督……伊奈精一
◆浦邊粂子・小泉嘉輔

凱旋少年

◆偉大と云ふより、傑作と云ふより、一言、素敵、涙あり、笑あり、少年人情劇……

◆監督……築山光吉
澤村春子・中村吉十郎

鐵笛の義人

節子姫　會津御成實況

◆昭和三年七月二十六日より四日に涉る松平節子姫が鄕土會津若松に歸省せられ官民擧て熱誠なる歡迎の實況を謹寫せるものである。

改定料金……普通席　金十錢　壹等席　金三十錢　特等席　金五十錢

◆八月二日より寫眞差替士・日曜學生デー

高級常設　**平舘**　電四六六

ツルヤ洋品店の

夏の子供服陳列會

イタヅラ着　三十錢より
ボイル服　一圓四十錢より
富士絹服　二圓より

御自由御覽になられる樣店內に陳列

特に御勉め品霜降學生服

壹號　一圓十錢
貳號　一圓
參號　九十錢

ツルヤ　平四丁目　電一四〇